

# 平成29年6月22日開催教育委員会会議記録

## 1 開会・閉会等について

日 時	平成29年6月22日(木) 午後3時00分
場 所	教育委員会室
開 会	午後3時00分
閉 会	午後3時35分
出席委員	
教 育 長	加 藤 裕 之
委 員	雁 部 隆 治
委 員	阿 部 博 道
委 員	坂 根 慶 子
委 員	淺 松 三 平
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	後 藤 隆 宏
教育委員会事務局参事 (庶務課長事務取扱)	岸 川 紀 子
学 務 課 長	須 藤 浩 司
指 導 室 長	横 山 圭 介
指導室統括指導主事	飯 塚 雅 之
すみだ教育研究所長	石 原 恵 美
すみだ教育研究所 統括指導主事	齊 藤 圭 祐
地域教育支援課長	岡 本 香 織
ひきふね図書館長	高 村 弘 晃

## 2 議題について

### (1) 報告事項

第1 教育課題の進捗状況について

## 3 会議の概要について

**教育長** それでは、教育委員会を開会します。本日の会議録署名人は阿部委員にお願いします。本日は、報告事項1件を予定しております。

## 報告事項第1・・・資料P1

「教育課題の進捗状況について」、所管課長が資料のとおり説明する。

**庶務課長**（学校校舎等の改築・改修事業について説明）

**教育長** ただいまの説明についてご質疑、ご意見はありますか。

（質疑・意見なし）

**指導室長**（新学習指導要領への対応について説明）

**教育長** ただいまの説明についてご質疑、ご意見はありますか。

**坂根委員** 学校調査というのは、具体的にどういうことでしょうか。

**指導室長** 各学校において、道徳の教員を中心とした調査委員を指名し、来年度使用される道徳教科書の見本を閲覧して、その内容や構成、教科書の組立て、どのような資料が使われているか等を調査し、報告してもらいます。

**坂根委員** こちらが学校に対して調査をしているというわけではないのですか。

**指導室長** 学校調査とは別に、指導主事の方でも内容について十分調査しております。学校調査ということでは、調査委員からの調査報告書と、研修センターや学習センターで行われた教科書の展示会で閲覧をした教員の学校単位による意見をまとめたものと、この2つを合わせて検討委員会の資料とさせていただきます。

**坂根委員** 委員の皆さん、これでよろしいですか。

**浅松委員** 私はわかりません。

**阿部委員** 方法は、今までの教科書（採択）のときと同じですよ。

**指導室長** はい、従来の教科用図書（採択）と同じ取扱いです。つまり、一般の教員からの意見と、道徳教育に比較的研究を深めている教員で構成された調査委員からの意見と、両方から調査報告をいただきます。

**坂根委員** 教員が調査して報告するのですか。

**指導室長** はい。そのうえで、検討委員会をPTA会長等も含めて開催し、検討を進めてまいりました。

**坂根委員** 学校調査というので、指導室が学校に調査をしているものと、とらえてしまったのですが今の説明でわかりました。

**浅松委員** 先ほど指導室長から、5月26日に小学3年生を対象とした外国語活動の研修、5月12日に道徳教育推進教師連絡会の「考え、議論する道徳」についての研修をしたと報告がありましたが、受講された方から意見や感想を集めるといったアンケートなどは行いましたか。行ったとすれば、その中で特に「英語の教科化の活動」が小学3年生から始まる辺りのことについて、教員からの記述とか、そういったものがあれば教えてください。

**指導室統括指導主事** アンケートを行った結果では、全体的に肯定的な意見をいただきました。

**浅松委員** 教員からは不安や悩みといった、いろいろな心配は出ていませんでしたか。

**指導室統括指導主事** 道徳については、道徳を評価することに心配があるという意見が多くありましたので、次回の道徳教育推進教師連絡会では、評価を中心とした研修を行うことを予定しています。

**浅松委員** そういった研修結果を見て、キーポイントを押さえながら、さらに向上していただきたいと思ってお尋ねしました。

**坂根委員** 今、道徳の評価を中心とした研修についてのお話でしたが、研修自体はこれからどれく

らの頻度で行われるのですか。また、次はいつ頃行われるのでしょうか。

**指導室統括指導主事** 道徳については、年3回あります。1回目が5月12日に終わっています。

**教育長** 外国語活動のほうも説明してください。

**指導室長** 外国語活動のほうは、年9回あります。現在2回目まで終わっていますので、残り7回実施する予定です。

**浅松委員** 今回は、小学3年生対象ということですが、合同ではなく分けてやるということですか。

**指導室長** 各回それぞれで、テーマを設けた研修内容にしています。今回は、小学校3学年の担任にターゲットを絞って行いました。これからも推進的な役割を担う教員を対象とした研修を行っていきます。

**坂根委員** それに付随してですが、教員に対する外国語活動研修については、私も昨年度と2年前に参加し研修内容を拝見しているのですが、どちらも同じ内容の研修を行っていました。昨年度までは、日にちを変えただけで同じような研修をしていたのですが、今年度はそういうことではなくて9回実施するというのでしょうか。

**指導室長** それぞれの研修内容については、同じものを複数回という形にならないように工夫して行います。

**坂根委員** いえ、そういうことではなくて、例えばその回に出られない場合に、次の回に受けられるとか、例えば基本的な研修は6回だけれども、9回はやるといったような形かどうかということです。

**指導室長** 夏季の研修については、できるだけ多くの方に参加してもらえよう形を取っています。ただ、あまり大人数で集まる形の研修ができませんので、夏季の研修については、同一内容を複数回で行うというような形にしております。

**坂根委員** では、それも含めて年間9回程度ということですか。

**指導室長** そうです。

**坂根委員** では、実質はそれほど多くないわけですね。

**指導室長** 内容的には、6回分程度になるかと思います。

**坂根委員** わかりました。

**すみだ教育研究所長** （学力向上新3か年計画の実施について説明）

**教育長** ただいまの説明についてご質疑、ご意見はありますか。

**雁部委員** 実績で「マネジメント推進校へ訪問し...校内研修会等で講義を行った。」とありますが、ここで言われているのは講義だけですか、それともマネジメント推進校からの意見や話し合いといった参加は行われているのですか。

**教育長** 実務的な部分については、統括指導主事から説明をお願いします。

**すみだ教育研究所統括指導主事** マネジメント推進校に対して、まずこの事業について直接説明するとともに、学力向上には各学校で組織的に取組を進めていくことがいかに大事であるかということをお伝え、改めて校内の分掌体制等を確認していただきました。また、自校における学力向上への方針に対する校長先生の教示を示し、それに向けた具体的な取組方法について、演習形式を取り混ぜた講義を行いました。

**坂根委員** 私は学校公開で、中和小学校の理科のアシスタントの協力を得た授業を拝見したのですが、理科のアシスタントの先生が担任とペアでやっておられ、大変よい形で進んでいたように思いました。それを中学校の校長先生や理科の先生にお話ししたところ、あまりそういうことをご存じな

ったようでした。そういう形で授業を進めることができれば、中学生になったときにも理科好きの子が出てくるとか、成績が上がることにもつながると思われま。とても良いことであるとの評価もありましたので、ご報告します。

**すみだ教育研究所統括指導主事** 特に小学校の方では、今の学習指導要領においても言語活動の充実ということが言われていますように、話し合い活動等を通じて、お互いの考えを言い合い自分の考えを高める、ということが大切だと思います。また、中学校の方でも、引き続き幼保小中一貫教育への取組がありますし、学校訪問等さまざまな形で、そういった取組が各学校へ広がっていくよう、こちらからも伝えていきたいと思。います。

**浅松委員** 学力向上新3か年計画の中において、「新すみだプラン」で2つのテーマを置き、「基礎・基本」と「発展的学習」ということに絞っています。先日、区の調査結果のデータも提供いただきましたが、その中で、個人学習プロフィールについて毎年課題があると思。いました。特に、小学校までに定着した部分が中学校へ引き継がれているのかといったところも含めてですね。この区の調査の結果を踏まえた上で、これから、すみだ教育研究所でも指導していかれると思。います。その辺りで何か、今年度特にお考えになっていることなどがありましたら教えてください。

**すみだ教育研究所統括指導主事** 個人学習プロフィールにつきましては、小学校6年生までの区の調査結果等を区立中学校へ提供し、小学校での学習状況を確認してもらい、それを踏まえた上で中学校での指導を行っていただくというものです。これについては、今年度も昨年度に引き続き、同じ形でやらせていただこうと考えています。ただ、既に話題になっていると思。いますが、国の学力調査において、今後は小学校6年生のデータを中学校3年生のデータと比較できるような形でその中学校へ送っていくというような情報があります。しかし、それだけではなく、指導要録の抄本の提供や、中学校と小学校における聞き取り状況など、学習状況・生活状況を含めたものを、双方で連絡していくということが非常に大事なことであると考えています。

**浅松委員** 私も、区の調査結果だけではなくて、先ほど、坂根委員からもお話がありましたが、基本はやはり授業だと思いますので、そこでの子どもたちの成長となる成果といったものについて、きちんとカルテ的に押さえておくことによって、それが個々の子どものケアとなり、さらに、放課後学習や夏季休業中での集中的な教えにつながっていくものであると思。いますから、そこまで上手く活用することができたらよいと思。います。

**すみだ教育研究所統括指導主事** 現段階としては、個人学習プロフィールを続けさせていただき、その上でそういった方向性について、学校に対してこれからどのように働きかけていくかといったことを含めて検討していきたいと思。います。

**すみだ教育研究所長** (幼保小中一貫教育推進計画の改定について説明)

**教育長** ただいまの説明について、何かご質疑、ご意見はありますか。

(質疑・意見なし)

## その他

**雁部委員** 先週の土曜日(5月27日)に、小学校5校の学校公開へ行きました。そこで、少し気が付いたことがあるのですが、ある学校は、校舎全体に冷房が入っており、子どもたちはとても快適に、とても静かに勉強に集中していました。逆に冷房が入っていない学校は、当日、少し気温も高く暑かったということもありましたので、教室の窓を開けておりましたが、見学する保護者たちも扇子を使ったりしていました。やはり快適な学習環境ということが必要だと思います。暑過ぎたり

すると、どうしても保護者同士もざわついたり会話をしたりと、授業を受けている子どもたちも落ち着きません。やはり今は、大人も子どもも冷房に慣れてしまっているということもありますので、教室を快適な室温にすることで、落ち着いて勉強ができるのではないかと思います。中には、冷房を入れずに窓を開けていただけの学校でも、静かに勉強しているところもあったのですが、どうしても暑いですから、子どもはだらけてしまい、机の上で頬杖をつく子もおり、勉強への集中ということを考えますと、そのための環境づくりということについて少し考えた方がよいのではないかと、回った5校を見て感じました。先生の方も暑がっているような雰囲気です。授業をしていましたから、その状態で子どもたちを集中させようとしてもなかなかできないと思います。せめて授業の時間だけでも冷房を入れてあげたら、もっと勉強に集中できるのではないかと思います。室温設定の基準といった各学校における方針もあると思うのですが、いかがでしょうか。

**教育長** 学校に対して事務局から通知などは出されていますか。

**庶務課長** 特段、冷房を何月から入れるようにといった通知は出していませんが、今いただいたご意見を踏まえ、適切な学習環境で子どもたちが勉強できるように、校長会等の場を通じて話をしたいと思います。

**次長** 学習環境を整えなければならないということも当然あるのですが、一方で、電力消費量を極力抑えなければならないということで、学校や教育委員会の関係施設も一つの対象事業所として、二酸化炭素排出量を換算したデータ等を都や国へ報告しなければならないといったものとの両にらみの実情があります。このような時期であること、また、室温は28℃設定を基準としていることでもありますので、その辺りとの兼ね合いを考えながら、各学校で対応を判断することになります。

**庶務課長** 区では環境保全課を通じて、省エネルギーの観点から学校に対して節電を呼びかけている部分もありますので、まずは実態を情報収集し、適切な学習環境に整えられているかどうか確認していきたいと思います。

**教育長** 特に教育委員会からは通知は出していないけれども、環境に配慮しながら対応については各学校で適宜判断されているということですが、熱中症といった心配もありますし、教育委員からのご意見もありましたので、その辺は臨機応変に対応するよう校長会で少し話をさせていただきたいと思います。

**雁部委員** 冷房を入れている学校では、図書館で勉強しているような感じで集中して勉強ができていたので、そうでない場合との違いがよく分かりました。

**教育長** 指導室長からも補足事項があればお願いします。

**指導室長** どの学校でも、最終的には校長が判断することになると思います。特に、学校公開では、普段よりも人口密度が高まりますので、余計に暑く感じますし、それがざわつきにもつながってくるように思います。小・中学校それぞれの発達段階によるとは思いますが、基本的な考え方としては、冷房によって快適な学習環境を作るということをあまり進んで行わない、というところが学校現場としてはあります。逆に教室が冷えていることで、かえって子どもたちの健康状態によくないということもあつたりしますので、そういった考慮がある中で、冷房が入っていない教室で大人の感覚として「暑い中で子どもたちは大変だ。」という印象を持たれる可能性もあると思います。ただ、学校公開等ではなく、見学する人も少なく、ざわつきもないといったときには、多少教室の中が暑くても、ある程度の室温までは子どもたちも集中して勉強ができると考えています。また、校長会等でも話をしていきます。

**坂根委員** 今の件に補足して申し上げますが、私が行った学校は土曜日ではありませんでしたが、

学校公開で泥だんごを作っていました。そういう作業というのはかなりエネルギーが出るものですし、保護者もたくさんいらして、たまたま端の教室だったこともあって風通しも悪く特に暑く感じましたので、教務主任の先生にそういった状況を申し上げましたところ、「すぐ見てきます」ということになりました。ですから、一概にその日の気温とか作業内容とかによって決まることではなく、臨機応変な対応が必要だと思えます。

**阿部委員** 私は先週の土曜日（6月17日）に、中和小学校の公開授業に行ったのですが、本所警察署の方が来て、放課後の安全について「いかのおすし」という標語を使って子どもたちにわかりやすく説明されており、また、保護者や地域の方も含めた周知についてもいろいろアドバイスをされていました。そういう点まで配慮した指導をされていることに感心しました。

**指導室長** おそらく「セーフティ教室」が行われていたと思われます。学校では年間にセーフティ教室を必ず位置付けるようにしており、学校以外で警察などの関係機関と連携を取りながら行うようにしています。また、保護者や地域の方にも参加していただき共通理解を図るということも大変重要ですので、学校公開の場で実施する形をとっています。

**雁部委員** 幼保小中一貫教育に関連することについて報告します。たぶんどの学校でもやっていることだとは思いますが、中学校の先生と生徒が学区域の小学校へ訪問し、スライドなどを使って自分たちの中学校を紹介するということをしていました。いわゆる営業という形だと思うのですが、今まではそういうことがあまり行われていなかったもので、このように先生と生徒が一緒になって「うちの中学校はこういうところが素晴らしいので、ぜひ来てください。」と積極的にアピールすることは、とてもよいことだと思えました。これからもどんどんやってほしいと思います。

**坂根委員** 以前からやっていますね。

**すみだ教育研究所長** はい、ブロックごとにやっています。

**坂根委員** そうですね、ブロックごとで、土曜日に行われることが多いと思います。

**すみだ教育研究所長** とてもよい活動なので、全ブロック展開ということで、内容改善も図りながら、さらによくしていきたい取組の一つです。

**坂根委員** 小学校には保育園児も来たりしていますね。

**すみだ教育研究所長** 中学生は保育園にも行ったりしています。

**坂根委員** ですから、学校公開というのは大変有意義なものなのです。幼稚園児・保育園児やその保護者もそこで一緒に作業とかをしたりすると熱気にあふれます。それに付随して申し上げますと、学校公開は特に土曜日に行われることが多いということもあり、ご両親のほかにもおじいさん、おばあさんもいらして、学校の中は全児童数よりもその学校公開に来た方の総数のほうが多いというくらい非常に盛んになってきています。校長先生にとっても今までは保護者のそのような傾向を感じなかったとしても、このように学校へ関心を持つ方が増えてきていることで、それが学力向上への興味にもつながっているということを感じることができれば、大変嬉しいことですし、学校側にも励みにもなると思えます。

**浅松委員** 運動会について2点申し上げます。1点目は、5月下旬から順番に、できるだけ多くの学校の運動会を見てきました。種目を見ることも目的なのですが、特に天候がかなり不順であったということで、暑さの心配だけではなく、強風による心配もありまして、ニュース等の報道でも、つむじ風が起きたといったことを見聞きしました。学校によっては、地域や町会等の協力が得られ、全児童がテントつきの場所で応援できる場合と、そうではない場合とあります。それ自体は仕方がないことなのですが、逆にそういった日除けのためのテントが十分に用意できない学校が、PTAのほうで

熱中症予防にイオン飲料水などを学年ごとに用意したりしていました。そういった対策というのは学校だけではなかなか手が回らないところで、それを補完するようにPTAや地域がフォローされており、まさに学校を支えているということが感じられ、墨田区はすごいという印象を持ちました。またテントのことで加えて申し上げますと、来賓席や敬老席の辺りにテントがある場合、台座がコンクリートのような硬いものであると杭が打てないので、ロープで縛ったりするのですが、風が強い場合、ある学校ではテントが台座から少し浮き始めているので飛ばないようにそれを上から押さえていたりする様子を見たりしますと、少し怖く感じました。もう1点は、台東区リバーサイドスポーツセンターで、本所中学校、錦糸中学校、吾嬬第二中学校の3校が運動会を実施したのですが、うち、吾嬬第二中学校だけは校舎の都合によるのか優先申込の関係なのか、例年どおり土曜日に行われたのですが、あとの2校は相変わらず平日にしか日程が取れなかったということで、台東区の施設ということもあり、どうしても土日は難しいということなのですが、平日に予約ができたとしても、さらに予備日を設定することも難しいようです。本所中学校では予備日の設定自体が、例えば当日にどこかの高校が使わなければ利用できるだとか、通常の態勢を取っていればその日は利用できるものだとかいった事情が背景にあったりしたようで、毎年、予備日を綱渡り的に押さえているといった悩みを持たれているということを伺い大変だと思いました。もちろん自校の校庭でできるのが一番でしょうけれども、学校がどのようにしたら運動会を安心安全に行うことができるのかということをお考えすると、今度鐘ヶ淵のほうに総合運動場ができることによって、少しそれが緩和されたらよいと思いました。

**坂根委員** 今、浅松委員からご報告のあった運動会に関して私も参りましたし、委員の皆さん全員がいらっしゃっています。ある学校のとときには教育委員4人全員が偶然に揃うようなこともありました。運動会は委員が分担して各学校に行っているのではなく、都合がつく限りできるだけ行くようにしています。それで校長先生方にも喜んでいただいております。今、浅松委員からお話があったテントの数の問題について、昨年も同様にありました。それでも学校によっては町会のほかにも、例えばコミュニティ会館のテントを使ったりするといった工夫をされているところもありましたので、昨年度よりもっとテントを増やした方がよいと思った学校には、ほかの学校の事例を申し上げたりいたしました。それから熱中症予防についてですが、東吾嬬小学校では、午前中に10分間の休憩をとって全員に水を飲ませるといったことをしていきまして、このように各学校でとても工夫してよいことをされているのを、それをレポートにして報告するにとまでは申しませんが、今年の運動会で工夫してよかったところを一覧にするなどしたらよいと思います。運動会が大体同じ日程で行われますから、なかなか他校の様子というのが分かりませんので、そういったものを学校同士で共有することができたら、今年の秋の運動会や来年度の運動会に向けて、いろいろと参考になると思いますので少し提案したいと思います。

**指導室長** 今年の春の運動会では、委員の方々がご覧になっていたように、各学校で熱中症予防の対策にかなり丁寧に取り組んでいましたので、おかげで熱中症の発生報告もなく、大変有難いことだと思っています。このような取組につきましては、校長会等を通じて私のほうからお礼を申し上げたいと思います。それから、運動会の練習段階において、指導主事が各学校を回りまして、どのような安全対策が採られているかといったことを確認し、必要に応じて助言なども行いました。ただ、取り組むべき課題の中では、学校ごとに校庭の広さや形状や諸事情等により違いがあることにより、テント等の設備を一律に行えない場合もあります。各学校における取組状況を紹介していくことは積極的に行っていきたいと思っています。

**坂根委員** そうですね、学校によっては日当たりとか違いますからね。

**指導室長** それから、先ほど浅松委員が言われていた、ふわっと浮き上がったテントというのは、錦糸公園で行われた運動会を私も一緒に観ているときに起きました。今のテントには引き伸ばすことができる組立式のものがあり、しかも非常に軽量です。不安定ではあるのですが、逆にテントが風で舞い上がったとしても、軽量であることでかえって大きな怪我につながりにくいという利点もあります。そういった形状であることから、地面へ固定するということができないものなのですが、そういった事例も踏まえた上で安全面について学校へ適切に指導していきたいと思います。

**教育長** これで、教育委員会を閉会いたします。